

No.2 キーワード： 稲WCS・粃米サイレージ、窒素減肥、防除回数削減

合同会社 Aの一 北海道上川郡愛別町

基本情報

- ・ 気候：5～9月積算気温約2500℃
- ・ 土質：灰色低地土、強粘質
- ・ 従事人数：6人
- ・ 臨時雇用：約125人・日
(稲WCS収穫時)
- ・ 稲WCSの生産開始：H15年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	19.8 ha	35 a
稲WCS(移植)	4.3 ha	
粃米サイレージ(直播)	16.0 ha	
エン麦	10.1 ha	
そば	1.3 ha	



稲WCSの収穫作業(平成27年8月)

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ① 主食用米を適期に作付け、その前後に飼料用米を作付けすることで、田植え・収穫作業等を分散このことにより、労働力の分散及び稲専用作業機の稼働率を上げ、経営全体のコストを抑制
- ② 主食用米・稲WCS・粃米サイレージの収穫・乾燥・調製は、地区で共同運営しているライスセンターに作業委託し、個別完結の経営体系としない
- ③ 地区ライスセンターの主たる担い手となり、委託経費を抑制

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

稲WCS(6月中旬移植、8月中旬～9月中旬収穫)

- ① **施肥** 耕種的防除及び飼料品質向上のため、主食用米と比較して窒素成分を65%程度に低減(約35%減)
- ② **防除** 可食部への農薬散布を抑制するため、主食用米の基幹防除である茎葉散布を省略

粃米サイレージ(直播栽培、5月中下旬播種、10月中旬収穫)

- ① **施肥** 耕種的防除のため、主食用米と比較して窒素成分を85%程度に低減(約15%減)
- ② **防除** 可食部への農薬散布を抑制するため、主食用米の基幹防除である出穂以降の茎葉散布を省略
- ③ **乾燥調製** ほ場での立毛乾燥による乾燥コストの低減及び、調製(篩・色彩選別)の必要がないため、調製費用の節減
- ④ **直播栽培** 育苗資材が不要、労働力の軽減

導入効果

稲WCS(移植)

- ・ 肥料費 ▲約35%
- ・ 農薬費 ▲約15%
- (同一経営体の主食用米(移植)との比較)

粃米サイレージ(直播)

- ・ 肥料費 ▲約15%
- ・ 農薬費 ▲約3割
- ・ 乾燥調製コスト ▲約3割
- ・ 育苗労働時間 ▲約5割
- (同一経営体の主食用米(移植)との比較、労働時間は北海道農業生産技術体系との比較)

支援体制

- ・ 愛別町として、産地交付金(地域戦略枠)に飼料用米及び稲WCSの複数年契約を設定
- ・ 複数年契約により、飼料米生産を定着させ、飼料原料の安定調達、飼料の安定供給を支援

課題・今後の目標

- ・ 産地毎の飼料品質・成分の均一化
- ・ 畜産農家のニーズに合わせた飼料作り
- ・ 調製飼料の保管・品質管理